


ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第9次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんしんきゆうちいきしえんねっとおかやましぶ		
団体名称	特定非営利活動法人鍼灸地域支援ネット岡山支部		
代表者職名	支部長	ふりがな	いづか みきよ
		代表者氏名	飯塚 美紀代 
ふりがな	おかやまけんおかやましきたくたまち		
団体住所	〒 岡山県岡山市北区田町		
電話番号		FAX	
設立年もしくは活動年数	2013年9月		
スタッフ数	有給スタッフ _____ 1名・無報酬スタッフ _____ 3名・ボランティア等 _____ 21名		
団体HP(あれば)	http://harinet.org		
FBページ(あれば)	Npo 法人鍼灸地域支援ネット		
CANPAN登録 (原則必須)	あり (星 3 つ) 【団体ID: 1209375953 _____】		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	理事長	ふりがな	ひびやすひろ
		担当者氏名	日比泰広
郵送物送付先住所	〒 滋賀県甲賀市水口町		
担当者電話番号 (極力携帯番号)		担当者 e-Mail	

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

(事務局記入欄)

事務局記入欄 受付日・受付者		事務局記入欄 CANPAN 登録	有 ・ なし (予定 月 日頃)
-------------------	--	---------------------	------------------

申請事業の内容

事業名 (プロジェクト名)	お灸指導と簡単な鍼灸施術を通じた仮設住宅コミュニティ支援
事業概要 (事業内容を簡単に)	平成 30 年 7 月豪雨水害被災者のコミュニティ支援活動と、仮設住宅等における生活不活発病の予防として、鍼灸体験コーナー、セルフ灸指導、および傾聴活動を行う。実施場所は仮設住宅集会所や被災者支援イベント会場など。災害支援ネットワーク@くらしき会議等を通じて連携している団体や行政、社会福祉協議会が行うサロン活動等に帯同して行う予定。
活動(予定)期間	2019 年 10 月 1 日 ~ 2020 年 3 月 31 日
活動(予定)場所	倉敷市および総社市の仮設住宅およびコミュニティ支援活動
受益者数	直接受益者 (のべ概算 240 名程度) 間接受益者 (のべ概算 200 名程度) ※いる場合
事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況)	
<ul style="list-style-type: none"> ・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入) ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか 	
<p>【背景】 みなし住宅含む仮設住宅入居者は、被災前の地域の繋がり保持を望みながら、現在の住居地においても住民同士の交流を必要としている。当 NPO は 2019 年 3 月より社協、保健師、生活支援団体等が主催するコミュニティ支援のサロン活動にて、国家資格を有する鍼灸師として参加し、簡単な施術と健康指導、セルフ灸の指導を行い、被災者の身体の疼痛や抑鬱状の緩和のための活動を継続している。現在、各団体と共に月間 5 回の活動まで広がってきたが、今後も協働、連携の問い合わせがあり、活動日数増加が予想される。</p> <p>【目指す状況】 当面は、仮設サロン活動等の会場において東洋医学(鍼灸)の養生(健康法)を通じた住民への健康指導と経穴(ツボ)へのお灸体験を通じたそれぞれのコミュニティにおけるサロンの活性化を目指す。</p> <p>【長期の展望】 仮設住宅は生活力のある人から退居し、高齢者や生活弱者と言われる方が残されやすくなる。鍼灸活動をコミュニティ支援として行い、仮設住宅内にて疼痛や抑鬱による生活不活発病を予防することで、住民が自身の将来に希望を持てるように支援する。</p>	
事業の実施内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことをいつ(回数等)やるのか 	
<p>【活動期間と回数】 令和 1 年 10 月~3 月に月間 4 回~6 回の割合で合計 25 回程度の活動予定。</p> <p>【活動の内容】 仮設団地の集荷所やイベント会場等で、連携する生活支援団体等が主催するサロン活動等において鍼灸体験コーナーを設置し、簡単な施術を行う。また利用者に対して家庭で出来るセルフ灸の指導、身心が元気になる東洋医学の養生術の指導を行う。また必要とされる方には有料(原価)にてお灸体験キットを提供する。</p> <p>【活動場所】 真備市場仮設住宅集会所。真備市営住宅、米寿デイサービスセンター、岡山コープ総社東店、他、喫茶店、等を予定</p> <p>【仮設住居者の支援以外の活動】 災害支援ネットワーク@くらしき会議参加、支援団体のボランティアの疲労回復を目的とした施術活動、等</p>	

事業の実施体制

・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

【統括責任者】

日比泰広 滋賀県甲賀市土山町在住 電話 090-3162-8447

【岡山活動コーディネーター】

飯塚美紀代 岡山市北区田町在住 電話 090-2292-8810

【活動員】（岡山県鍼灸師会会員より）

赤澤成仁、小野由美子、他、数名を予定

【連携団体】

おかやま NPO センター、倉敷市社会福祉協議会、輪っかの会、呉妹を元気にする会、おかやまコープ倉敷、おかやまコープ総社東店、等、「災害支援ネットワーク会議@くらしき」にて参加している団体と連携、情報共有しながら活動する予定。

事業実施後の展望

- ・助成期間後も活動を継続する場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

助成期間終了後も仮設入居者のコミュニティ支援は必要であると予想されるため、当活動も継続する予定。

【現時点で想定している活動内容】

保健師や支援団体が開催するサロン活動に帯同し、コミュニティ支援と生活不活発予防を目的とした鍼灸活動。
新たに真備地区等、被災地域に帰還する住民のためのサロン活動等も予定。

【助成期間終了後の経費について】

現時点では助成期間終了後の活動経費の捻出については決まっていない。
必要であれば新たな助成金や寄付金の獲得を計画していきたい。

その他

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

現在も災害支援ネットワーク@くらしき会議に参加し、他の支援団体と被災者支援情報を共有・連携しているが、今後もこれを継続し、被災された方が少しでも早く生活再建ができるように鍼灸を通じて支援していきたい。

当助成金申請や報告に対する連絡は当 NPO の滋賀県本部をお願いしたい。

実際の活動は、岡山支部の飯塚美紀代（現地コーディネーター：電話 090-2292-8810）が窓口として行う。

【現在行っている当活動についての利用者からの声】

鍼やお灸でリラックスできる。

保健師さんにお話をうかがいながら、鍼灸も受け、体も心も軽くなる。

鍼やマッサージに行きたいが料金が高いため、仮設にいる間だけでも続けてもらえると助かる。

お灸のすえ方を教えてもらい、家族にもやってあげた。

実施予算 ※価格の根拠が分かるものなど必要に応じて添付ください。

※収入と支出の合計をあわせてください。

1) 本事業の収入

費 目	金 額	備 考
ももたろう基金（助成申請額）	250,000 円	
自己資金	84,260 円	当 NPO への寄付金等を充当
合 計	334,260 円	

2) 本事業の支出

費 目（必要な場合算出根拠）	金 額	備 考
【交通費】 ガソリン代：	40,000 円	概算：活動 1 回 1000 円×30 回+会議 12 回参加分+他の活動分
【交通費】 本部との打合せ	18,260 円	新幹線利用 貴生川⇄岡山 9,130 円×往復
【材料費】 鍼灸材料費	53,000 円	見積もり詳細別紙①
【会議費】 活動に対する会議	18,000 円	概算：会議会場費 3,000 円×6 回
【人件費】 専門活動謝金	150,000 円	鍼灸活動 1 名につき謝金 5,000 円×50 回
【人件費】 活動応援者に対する謝金	25,000 円	活動応援 1 名につき謝金 5,000 円×5 回
【印刷費】 コピー代等	5,000 円	カルテ、チラシ等
【通信費】 郵便代・宅急便・電話代	5,000 円	概算
【雑費】 消耗品、その他必要な経費	20,000 円	概算：振込手数料等
合 計	334,260 円	

備考欄

概算の金額、材料費などはなるべく安価に抑えたい。